

CC-Link 特別号

CC-Link Safety(仮称)…いよいよ、仕様策定に着手！ --- テクニカル部会にワーキンググループ(WG)を設置 ---

CLPAテクニカル部会 部会長 中野 宣政氏

CLPA設立から約4年が経過しましたが、この間CC-Link技術/CLPA活動ともに順調に伸展し、更に“CC-Link新加速”の時を迎えておりますことは前号のCC-Link News Vol.10でもご報告させていただいた通りです。この間のユーザー様のご支持およびパートナー様のご支援に深く感謝申し上げます。

今年度上期(2004年/4~9月)も続いて大きな飛躍を果たしておりますが、特にテクニカル部会におけるSafetyワーキング



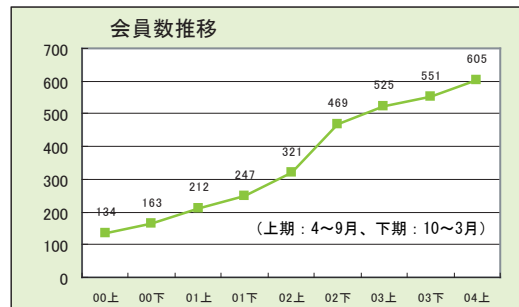
写真:第16回CLPAテクニカル/マーケティング合同部会

グループ(以下、WGと略す)の設置のお知らせとパートナーの皆様へのご参画のお願いとを中心に報告させていただきます。

1 会員数600社を突破! グローバル化が更に進展

CLPAのパートナー会員数は、今年度上期(4~9月)で54社増加し、9月末で605社となりました。うち海外322社/国内283社と、海外会員の比率(53.2%)が更に高まり、グローバル化傾向がますます顕著になってきております。

「グローバルスタンダード化活動(中国国家標準やISO標準)」での成果が期待される今年度後半以降では、更なるグローバル化の進展が見られるものと思っております。



グラフ:パートナー会員数の推移

2 “CC-Link Safety+Safety機器”への取り組み

ISO12100を始めとする国際安全規格の制定後、安全規格に適合した機器(安全リレー、安全スイッチ、ライトカーテン、安全マット等)が多数製品化され、こうした安全機器を用いて世界各国の工場において安全システムの構築が進んでいます。

安全機器を省配線化しシステム構築コスト削減、保安全性向上の解決策として待望されている安全フィールドネットワークは、非常停止に関わる情報を安全機器間で確実に通信するため、高い通信信頼性と診断機能が要求され、かつ既設のネットワークとの接続性・親和性も併せて求められています。

CLPAでは、上記背景を踏まえ、安全分野へのCC-Linkファミリーの適用を可能にすべく、テクニカル部会の下にCC-Link Safety WGを設立し、具体的な仕様策定作業を進めることに致しました。

3 CC-Link Safety-WGへの参加者(参加企業)募集

これからの需要拡大が見込まれる安全分野への進出を検討されているメーカー様は、現時点でのパートナー会員であるなしを問わず、事務局までご一報いただき、是非WGにご参加くださいますよう、この紙面を借りてお願い致します。

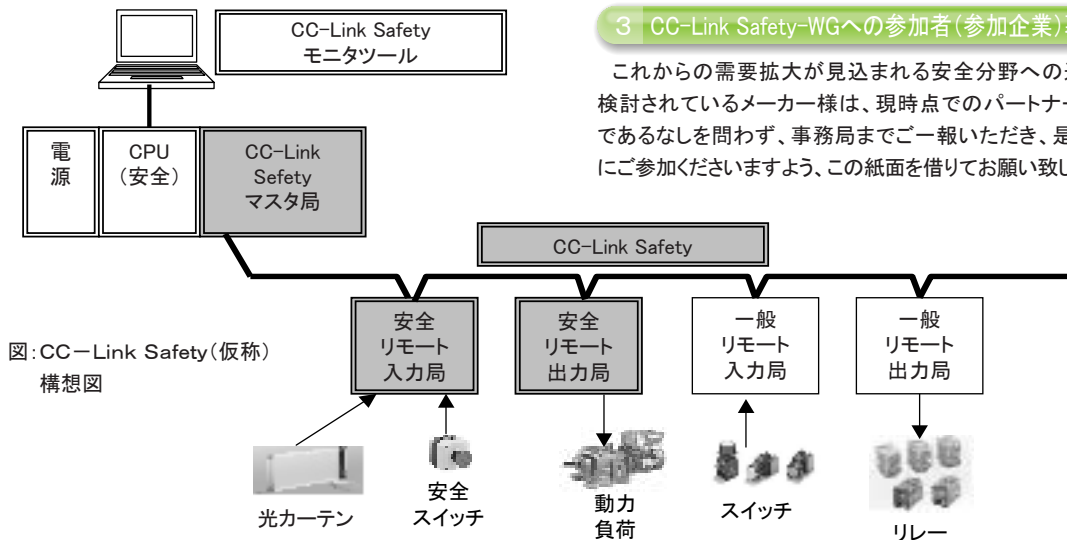


図:CC-Link Safety(仮称)構想図

CC-Link対応新製品

各製品ともCCLink協会の厳正なコンFORMANCEテストに合格した製品ですので安心してお使いいただけます。
それぞれの詳細情報・お問い合わせ先は協会ホームページメニューの「製品情報」をご覧ください。

CC-Link スレーブ | センサ・エンコーダ

エヌエスディ株式会社 <http://www.nsdcorp.co.jp/>
アブソコーダ変換器 VE-2CC, VM-2CC

- アブソリュート位置検出により原点復帰が不要。
- 非接触構造のため、抜群の耐久性、耐環境性。
- 電源断や偶発的ノイズに強い。
- 任意の位置で現在値設定が可能。
- 自己診断機能内蔵。



ダナハ-ICGジャパン株式会社 <http://www.hengstler.jp/>
アブソリュート・エンコーダ ACUROシリーズ フィールドバスCC-Link

- エンコーダ内部にCC-Linkインターフェースを内蔵
- バッテリーバックアップ無しのギア式エンコーダ
- 堅牢、防塵、磁気環境対応仕様
- 真の省配線接続に貢献



CC-Link 周辺機器 | 配線用パーツ

エヌエスディ株式会社 <http://www.nsdcorp.co.jp/>
バウムカブラ3TA, 3TBシリーズ (CC-Link対応スリップリング)

- 回転体への信号、通信、大電力の伝達が可能です。
- オーダーメイドですので、設置スペースや電気仕様まで、機械に合わせて一品一様にお応えします。
- 銀合金接点方式により微小信号から大電力(モータ電源など)まで同時通電が可能です。
- 100万回転までメンテナンス不要。接点グリスの塗布により最長2000万回転まで使用可能です。
- 極数が最大200極まで対応が可能です。



CC-Link 周辺機器 | ケーブル・コネクタ

日本電線工業株式会社 <http://www.nihondensen.co.jp/>
CCNC-SB110SF-5 CC-Link Ver.1.10対応 可動部用ケーブル

- 導体には、可とう性に優れた複合軟銅より線を使用しています。
- 外皮には、柔軟性と耐油・耐熱性を有する鉛フリーのビニル混合物を使用しています。
- 10Mbpsの高速伝送に対応し、CC-Link Ver.1.10の性能を十分に活かします。伝送距離は標準ケーブルの50%です。(例:10Mbps時 最大50m)
- 標準条長は100m。ただし、ご希望の長さに切断し、即納致します。



LEONI Special Cables GmbH <http://www.leoni-special-cables.com/>
L45467-Y19-C15

- Three twisted #20 (7x28) AWG Bare Copper Conductors with Foam High Density Polyethylene Insulation, Aluminum Foil - Polyester Tape (Beldfoil) Shield with 100% Shield Coverage plus Tinned Copper Braid Shield with about 80% Shield Coverage, 22 AWG (19x34) Tinned Copper Drain Wire, PVC - Polyvinyl Chloride Outer Jacket. Applicable Specifications: NEC Type CM



CC-Link スレーブ | HMI

Uticor, a Division of AVG Automation <http://www.uticor.net/>
PowerMarquee (CC-Link compatible)

- Easiest to Apply; no need to change the PLC program
- 2" - 8" Characters, Red or Tricolor LEDs
- Matched LEDs for uniform brightness
- FREE Windows-based programming software
- 4-year warranty



Mitsubishi Electric Automation <http://www.idec.com/japan/>
Hi-View Industrial Marquees, Model HVM 120, 140, 145, 220, 240, 245

- Easiest to Apply; no need to change the PLC program
- 2", 4", and 8" Characters, Red or Tricolor LEDs
- Matched LEDs for uniform brightness
- HV Developer software makes message programming extremely easy
- F Available in NEMA 12, NEMA 4 and NEMA 4X versions
- 4-year warranty



海外拠点便り

■CLPA北米支部 SEMICON-West2004へ出展

開催期間 2004年7月12日～14日
開催場所 北米・サンフランシスコ

CLPAブースには、多数のCC-Link対応製品のサンプル及び一覧リストを展示しCC-Link技術をアピールしました。そして、CC-Linkの新たな発展について、CLPAパートナー会員やCLPAへの入会を検討されているベンダー及びユーザー企業の来場者と懇談することができました。また、展示会を通してCLPAの数メンバーがCC-Link製品の開発に着手していることと、他の多くの企業がCLPA入会を計画していることが分かり、実のある出展を果たすことができました。



【CLPA-North Americaの出展ブース風景】

■CLPA台湾支部 CC-Linkセミナー開催

開催日 2004年9月22日
開催場所 台湾・台北

日本では経済産業省にあたる台湾の工業技術研究院・機械工業研究所のご支援を得て、CLPA台湾支部主催でCC-Linkセミナーを実施致しました。CLPA-TaiwanのHonor Chairmanでもある機械工業研究所の蔡



【機械工業研究所・蔡所長のご挨拶】

所長にもご出席いただき、冒頭のご挨拶をいただきました。

当日は100名を超える参加者があり、CC-Link技術や応用事例の説明に会場は熱気に溢れました。

台湾支部では、今後も台湾でのCC-Link普及のため積極的に活動を進めていきます。



【熱心に聴講される台湾の参加者】

■CLPA韓国支部 ウルサン大学へ研究用CC-Linkデモキットを寄贈

寄贈式典 2004年8月5日
開催場所 韓国・ウルサン大学構内

ウルサン大学・産学協同館において、大学側からは金在成副総長のご参席のもと寄贈式が実施されました。当日は地元のウルサン放送局の取材もあり、夕方のニュースで放映もされ、CC-Link/CLPAの知名度向上にも役立ったようです。



【寄贈のCC-Linkデモキット】

韓国における自動車・造船等の重工業や石油化学工業プラントの中心地でもあるウルサンの当大学からの今後の広がりを期待しています。



【寄贈式典での目録贈呈】

CLPA Schedule

10月	13日	CC-Link Safety WGキックオフ(CLPA本部)
	15日	CC-Link基礎セミナー(大阪)
	26日	CC-Linkセミナー(中国:鄭州)
	29日	CC-Linkセミナー(中国:武漢)
11月	2～5日	ISO国際会議(フランス:ニース)
	2日	CC-Linkセミナー(中国:広州)
	6日	CC-Linkセミナー(中国:青島)
	9日	第18回テクニカル/マーケティング合同部会(CLPA本部)
	11日	第19回幹事会(CLPA本部)
12月	16～17日	MOF2004 Tokyo (MOF: Manufacturing Open Forum/東京)
	1～3日	SEMICON-Japan2004(千葉・幕張メッセ)

【会員数&製品数情報】・・・2004年9月30日現在
 ■パートナー会員数: 605社(国内:283社/海外:322社)
 ■パートナー製品数: 614機種

昨年12月に事務所を移転しました!
(住所・電話番号・FAX番号を変更)

【編集・発行】
 〒462-0823
 名古屋市北区東大曾根町上5-1071明治安田生命大曾根ビル6F
 CC-Link協会 事務局長 原田 昭男
 TEL (052)919-1588 FAX (052)916-8655
 E-Mail cc-link@post0.mind.ne.jp
 URL <http://www.cc-link.org>

